



岡山県三大巨石墳の一つ

箭田大塚古墳



指定区分	国指定史跡
読みかた	やたおおつかこふん
所在地	倉敷市真備町箭田
指定年月日	昭和4年12月17日
解説	6世紀後半から7世紀初頭の築造と推測される横穴式石室をもつ古墳。備中こうもり塚、牟佐大塚古墳と並ぶ岡山県三大巨石墓の一つ。石室の規模は全国的にも最大級。明治34年に馬具や金環など多数の遺物が出土し、これらは現在、地元の吉備寺と東京国立博物館に保存されている。
アクセス方法	井原鉄道:吉備真備駅より1.8km
公開状況	自由
設備	駐車場  トイレ 
備考	南へ1kmほどのところに「まきび公園」があります。ここで吉備真備という人物のことを知ることができます。

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	箭田大塚古墳
よみかた	やたおおつかこふん
しょざいち (所在地)	倉敷市真備町箭田
していしたひ (指定した日)	昭和4年12月17日
せつめい	およそ1400年前につくられたと思われる横穴式古墳(よこあなしきこふん)です。岡山の三大巨石墳(さんだいきよせきふん)の一つで、石室(せきしつ)の規模(きぼ)は全国的(ぜんこくてき)にも最大級(さいだいきゅう)です。